

令和7年度上伊那圏域地域自立支援協議会議事録

会議	部会名	第3回相談支援専門員連絡会 第2回こどもサービス連絡会合同開催	参加者数	53人	会場	伊那市役所 多目的ホール
	日時	令和7年10月14日(火) 13:00~15:00				
主 テ ー マ	1. 目的 2. 情報提供 3. グループワーク 4. その他連絡					
	1. 目的 上伊那圏域では4市町村が行政による児童発達支援事業を運営し、他圏域にない特徴がある。地域の各事業所における支援内容や課題の共有と、児の相談支援専門員不足について意見交換を行うことで、今後の支援体制の充実を図るため合同で開催した。 2. 情報提供 (1) 児童発達支援事業所の運営と連携について ① たけのこ園 ② つくし園 ③ わくわくステップ ④ プラス・クオリティー(旧:こどもプラス) 各事業所より運営状況や支援体制、事業所利用に至るまでのルートなどの情報を共有した。 (2) 各市町村の相談の流れについて 市町村によって地域の相談支援専門員が支援に入るタイミングに違いがある。伊那市・南箕輪村・駒ヶ根市・箕輪町・その他(行政で児童発達支援事業所を運営していない町村)の相談支援専門員の動きや流れについて確認を行った。 3. グループワーク (1) 意見交換 ① 行政と民間の連携について ② 児の相談支援専門員不足について ③ その他困り感 8グループ6~8名に分かれて上記の課題について意見交換を実施。 (2) 全体共有 ・連携が取れるよう行政・民間合同で学習会や顔合わせの機会を作るとよいと思う。 ・行政・民間問わず、利用者家族がそれぞれの特色を知る機会があると良いと感じた。 ・行政・民間の強みを共有し役割分担ができると、より充実した療育が提供できると思う。 ・児童の相談支援を行ったことのない相談支援専門員にとっては児のハードルが高く感じるので経験者に伴走してもらいたい。 ・児童発達支援が終了し、放課後等デイサービス利用までの期間が空くと相談支援専門員が付いていないことがあり、保護者も相談先に困る様子がある。 等、各グループでまとめた内容を全体で共有した。 4. その他連絡 11/21(金)10:00~12:00 第2回重心・要医療的ケア連絡会開催。相談支援専門員にも通知予定。					
ま と め	・児童発達支援事業所の事業内容や利用に至るまでの流れについて理解を深めることができた。 ・グループワークにより有意義な意見交換ができ、今後の支援体制について検討することができた。					
次 回	第4回相談支援専門員連絡会開催 12/2(火) 13:30~15:30 場所:伊那市防災コミュニティセンター多目的ホール こどもサービス連絡会は今年度の開催終了					